２―４．社会的環境

（１）地域の成り立ち

現在の玉東町は、昭和 42(1967)年より始まる。明治 22(1889)年に、木葉・上木葉・山口・稲佐・浦田・上白木・白木・二俣・西安・原倉の各村が合併し、玉名郡山北村、木葉村となった。また、昭和 30(1955)年に玉名郡山北村、木葉村が合併して玉名郡の東に位置するという意味合いで「玉東村」となり、昭和 42(1967)年 4 月 1 日に町制施行により現在の玉東町となった。

地名については、安貞 3 (1229)年の相良家文書に「山北」の名称がみられるのが初見であり、その他中世文書（「阿曽社年中神事次第写（断簡）」）中に「木葉」「山北」「稲佐」の名が認められており、太閤検地の慶長 13(1604)年には上記 10 村が形成されていたことが分かっている。慶長年間に手永制が採用されると、内田手永（木葉町・上木葉・山口・稲佐・浦田）、小田手永（上白木・白木・二俣・西安寺・原倉）となり、明治維新後の地方の制度改革においては、明治 4 (1871)年 8 月に内田郷、小田郷と改められた。さらに明治 4 (1871)年には戸籍法公布に併せ大小区制が導入されると、第 20 大区 10 小区、第 21 大区 1 小区となり、明治 7(1874)年には第 7 大区 4 小区、第 7 大区 5 小区に属することとなる。

表５．玉東地域（周辺を含む）地方行政組織の変遷

旧村名	大小区制（明治5年）	合区の変遷（明治6年）		大小区制（明治7年）
北坂門田村 南坂門田村 中坂門田村 青　野　村 田　崎　村	第二〇大区 九小区	坂門田組	白木組	第七大区 四小区
上白木村 白　木　村 二　俣　村 原　倉　村 西安寺村	第二〇大区 一〇小区	白木組 原倉組		
木　葉　村 上木葉村 稲　佐　村 浦　田　村 山　口　村	第二一大区 一小区	木葉組	安楽寺組	第七大区 五小区
安楽寺村 都　留　村 下　　村	第二一大区 二小区	安楽寺組		

＜備考＞現玉東町所属村は着色部分 10 ヵ村

熊本県総務部地方課『熊本県市町村合併史』より作成。

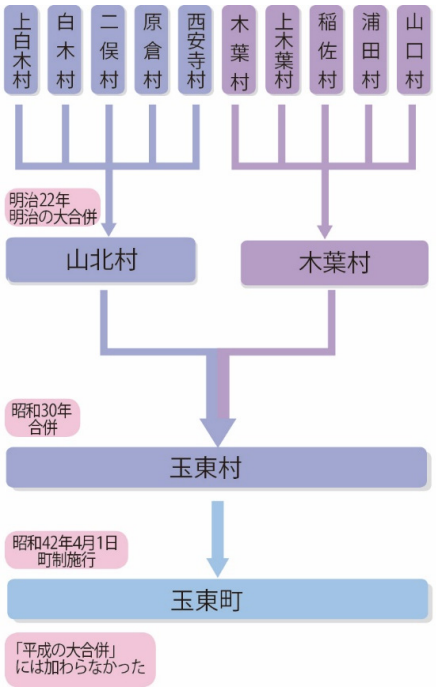

図 14．玉東町の市町村合併図

（２）人口

玉東町の人口は、令和 4(2022)年 1 月 1 日現在で、5,206 人である。世帯数は 2,027 世帯、一世帯当たりの構成は 2.56 人となっている。昭和 50 (1975)年から現在まで、人口の減少がみられる。

令和 2 (2020)年度の国勢調査をみると、15 歳未満（年少人口）は全体の 14.2%、15～64 歳（生産年齢人口）は全体の 48.9%、65 歳以上（老齢人口）は全体の 36.9%となっている。

65 歳以上（老齢人口）に関しては、年齢層（３区分）別人口割合の変遷からもみてとれるように、年々15～64 歳（生産年齢人口）は減少しているため、今後さらに高齢化が進むことが予想される。

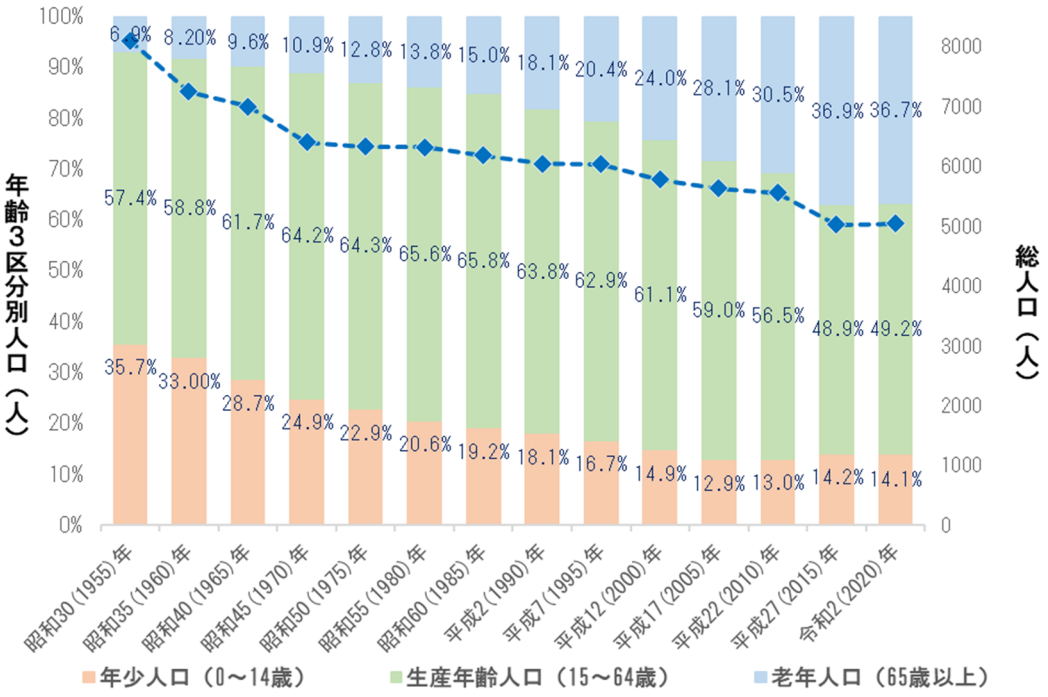

図 15. 年齢層（３区分）別人口割合の変遷

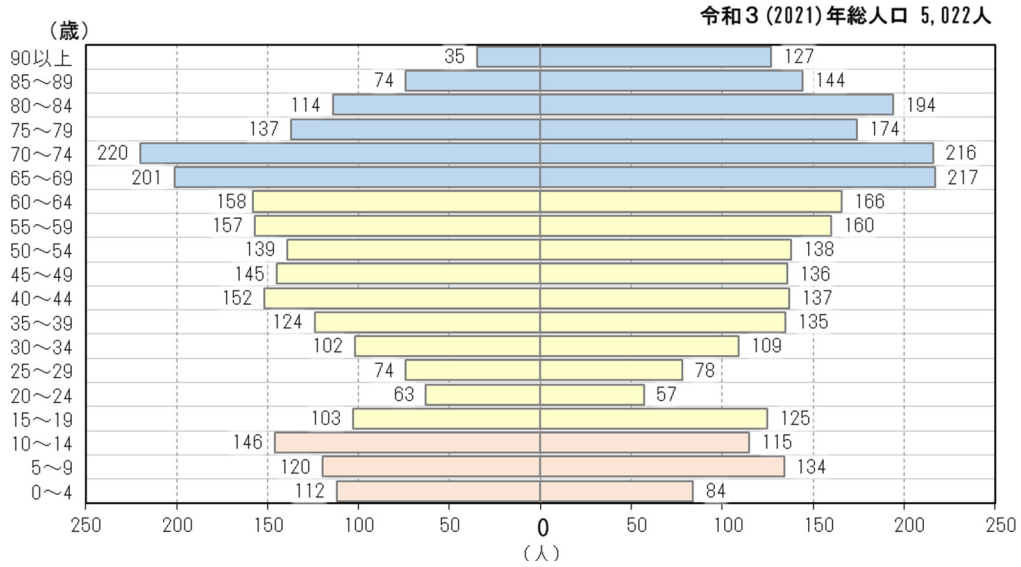

図 16. 年齢階層別人口

（３）産業

玉東町の就業者数は、農業、サービス業が多く、次いで、製造業、卸売・小売業となっている。平成 7～22(1995～2010)年の玉東町の 15 歳以上の就業者の産業構成をみると、いずれも就業者数は減少している。但し、卸売り・小売業は平成 17～22(2005～2010)年にかけて増加している。平成 17(1995)年まではサービス産業は増加傾向にあったが、平成 22（2010）年には減少している。サービス産業の中では、医療・福祉分野が 10.0%を超え、最も多い。

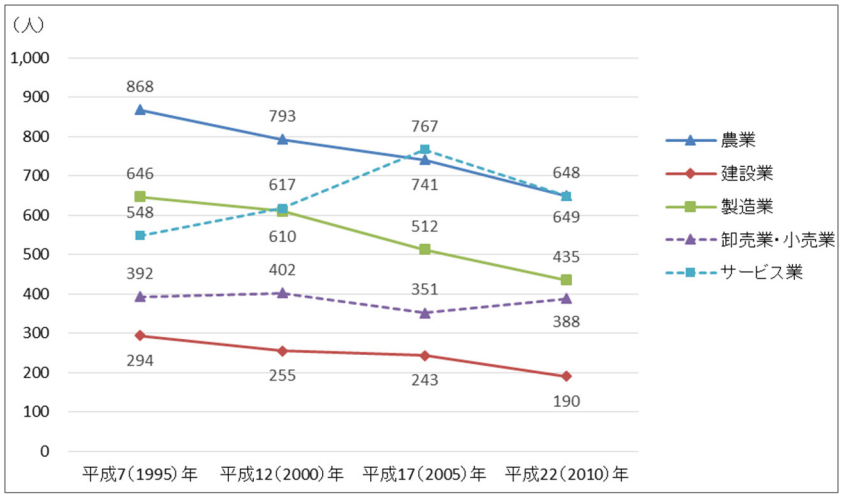

図 17. 主要産業の就業者数

表６．業種別就業者数（率）

	平成 7 (1995) 年		平成12(2000) 年		平成17(2005) 年		平成22(2010) 年	
	総数	%	総数	%	総数	%	総数	%
総数	2,748	100.0	2,995	100.0	2,880	100.0	2,585	100.0
農業	868	31.6	793	26.5	741	25.7	649	25.1
林業	－	－	4	0.1	2	0.1	4	0.2
漁業	－	－	－	－	1	0.0	－	－
鉱業	－	－	34	1.1	4	0.1	5	0.2
建設業	294	10.7	255	8.5	243	8.4	190	7.4
製造業	646	23.5	610	20.4	512	17.8	435	16.8
電気・ガス・熱供給・水道業	－	－	1	0.0	7	0.2	4	0.2
情報通信業	－	－	126	4.2	8	0.3	10	0.4
運輸業	－	－			97	3.4	96	3.7
卸売業・小売業	392	14.3	402	13.4	351	12.2	388	15.0
金融・保険業	－	－	41	1.4	28	1.0	31	1.2
不動産業	－	－	5	0.2	6	0.2	10	0.4
サービス業	548	19.9	617	20.6	767	26.6	648	25.1
飲食店、宿泊業	－	－	－	－	70	2.4	75	2.9
医療、福祉	－	－	－	－	311	10.8	351	13.6
教育、学習支援業	－	－	－	－	88	3.1	85	3.3
複合サービス事業	－	－	－	－	41	1.4	28	1.1
サービス業（他に分類されないもの）	－	－	－	－	257	8.9	109	4.2
公務（他に分類されないもの）	－	－	107	3.6	112	3.9	115	4.4
分類不能の産業	－	－	－	－	1	0.0	－	－

（４）通勤通学流動

国勢調査結果で見ると、平成 27(2015)年時点の 15 歳以上の玉東町住民のうち、町外へ通勤・通学しているのは、1,600 人（全人口の 29.3%）で、熊本市が 635 人。玉名市が 613 人と多い。玉東町は、平成 27(2015)年の国勢調査時点の昼夜間比率が熊本県内 45 市町村の中で 2 番目の低さであった。宅地分譲や交通アクセスの良さから、主に熊本市や玉名市のベッドタウンとして発展してきた。

他市町から玉東町に就業･通学している人は、630 人で、玉名市からは 321 人、熊本市からは 158 人となっている。

（５）土地利用

玉東町の総面積は、2,433ha であり（平成 29(2017)年度）、地目別の土地面積をみると、その内、畑が約 43%、山林が約 37%を占めている。玉東町の土地利用について平成 20(2008)年と平成 29(2017)年を比較すると、田や畑には減少傾向がみられ、宅地と山林の増加傾向がみられる。熊本県全体では宅地は減少傾向にあり、宅地が増加傾向にあるのは玉東町の特徴と言える。

表７．地目別土地面積

単位：ha(%)

	平成 20(2008)年				平成 29(2017)年			
	玉東町		熊本県		玉東町		熊本県	
総数	1,961	(100)	350,547	(100)	1,939	(100)	394,084	(100)
田	204	(10.4)	71,358	(20.4)	195	(10.1)	69,956	(17.8)
一般田	204	(10.4)	71,073	(20.3)	195	(10.0)	69,737	(17.7)
介在畑市街化区域田	0	(0)	284	(0.1)	0	(0)	220	(0.1)
畑	861	(43.9)	58,688	(16.7)	824	(42.5)	58,128	(14.8)
一般田	861	(43.9)	58,003	(16.5)	823	(42.5)	57,570	(14.6)
介在畑市街化区域畑	0	(0)	685	(0.2)	1	(0)	559	(0.1)
宅地	138	(7.0)	31,476	(9.0)	143	(7.4)	33,458	(8.5)
鉱泉池	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
池沼	0	(0)	343	(0.1)	0	(0)	350	(0.1)
山林	701	(35.7)	155,948	(44.5)	717	(37.0)	199,456	(50.6)
一般山林	701	(35.7)	155,659	(44.4)	717	(37.0)	199,204	(50.5)
介在山林	0	(0)	289	(0.1)	0	(0)	253	(0.1)
牧場	0	(0)	223	(0.1)	0	(0)	463	(0.1)
原野	5	(0.3)	231,129	(6.6)	5	(0.3)	215,680	(5.5)
雑種地	51	(2.6)	9,382	(2.7)	55	(2.8)	10,703	(2.7)

（６）住宅地

玉東町は、開発事業に伴う良好な住宅市街地を誘導するため、行政区域の一部、7ha が準都市計画区域に指定されている（平成 16(2004)年 5 月 10 日指定）。

住居系の第 2 種低層住居専用地域が全体の約 71%を占めており、残りが第 1 種中高層住居専用地域、第 1 種住居地域がそれぞれ約 14%となっている。

（７）農業振興地域・農用地区域

農業振興地域として、用途地域及び森林区域を除いた区域、2,998ha が指定されている。そのうちの 980ha が農用地区域に指定されている。

玉東町の大半が農用地区域に指定されており、表 7. 地目別土地面積、P21 図 12. 玉東町の植生・土地利用図からも見てとれるように、面積の 42.5%が畑となっており、南部に集中して果樹園が広がっている。

表８．農業振興地域・農用地区域指定状況

地域･区域	面積(ha)
農業振興地域	2,298
農用地区域	980

資料：熊本県農業振興地域整備基本方針　平成 29(2017)年 3 月変更

（８）森林域・国林・民有林・保安林

玉東町では、私有林が現況森林面積の約 82%を占めており、国有林（林野庁所管）が約 9%、民有林（公有林）が約 8%となっている。

また、アラカシ・ナンテン群集やスギ・ヒノキが植林されている木葉山、国見山がある町の北部、金峰山県立自然公園がある南部は、森林地域に指定されており、一部が保安林にも指定されている。

表９．森林地域、民有林、保有林の指定状況

	区分		面積(ha)
現況森林面積	国有林	林野庁所管	68
		その他の官庁	－
	民有林	独立行政法人等	－
		公有林（都道府県）	20
		公有林（市町村）	44
		私有林	622
	合計		754
森林計画による森林面積	国有		68
	私有		686
	合計		754

資料：第 66 次九州農林水産統計年報（平成 30～令和元年）より平成 27(2015)年時点の情報

（９）交通

１）鉄道

玉東町の北西から南東にかけて九州新幹線やJR九州鹿児島本線（在来線）が通っている。町の北部よりに在来線が通る「木葉駅」があり、町の玄関口となっている。木葉駅から熊本駅方面に向かって次駅は「田原坂駅」である。田原坂駅は熊本市に所在するが、他の公共交通機関との接続が不便であるため、町の南部や田原坂エリアへの訪問を考慮に入れると、木葉駅が本史跡の来訪者にとっては利用の可能性のある駅である。

なお、平成23(2011)年に開通した九州新幹線が南北に横断するが、町内に停車駅はなく、最寄りは新玉名駅である。新玉名駅と在来線は接続しておらず、バスや車を利用する必要がある。

以下に令和元(2019)年度の駅別一日当たり平均の乗車人員を示す。

表 10. 駅別乗車人員

駅名	線名	乗車人員（人/日）
木葉	鹿児島本線	385
田原坂	鹿児島本線	（100人未満のため不明）
玉名	鹿児島本線	2,548
新玉名	九州新幹線	602
熊本	鹿児島本線	15,441

資料：JR九州ホームページ　交通・営業データより抜粋（平成31(2019)年度）
https://www.jrkyushu.co.jp/company/info/data/station.html

２）バス

玉東町を通るバスには、市町村をまたぐ路線バスと町内を走る循環バスがある。路線バスのバス停は208号線沿いにあり、停留所は西から稲佐、木葉下町、木葉四つ角、木葉駅、玉東町役場前の５つである。行先は、玉名駅方面と桜町バスターミナル方面がある。

循環バスについては、保健センターである「ふれあいの丘 交流センター」を発着地として町内を無料で運行している。平日は７時台～９時台に４～６便、11時半以降の３便は木葉駅周辺施設に停車後、希望の停車場まで運行している。（令和３(2021)年４月時点）

３）主要道路

JR九州鹿児島本線と並行して国道208号が町の中心部である木葉地区を東西に通っており、熊本から玉名・荒尾方向を結ぶ道路として交通量が多い。高速道路は通っておらず、最寄りインターは植木IC（木葉から車で20分程度）、菊水IC（木葉から車で20分程度）である。

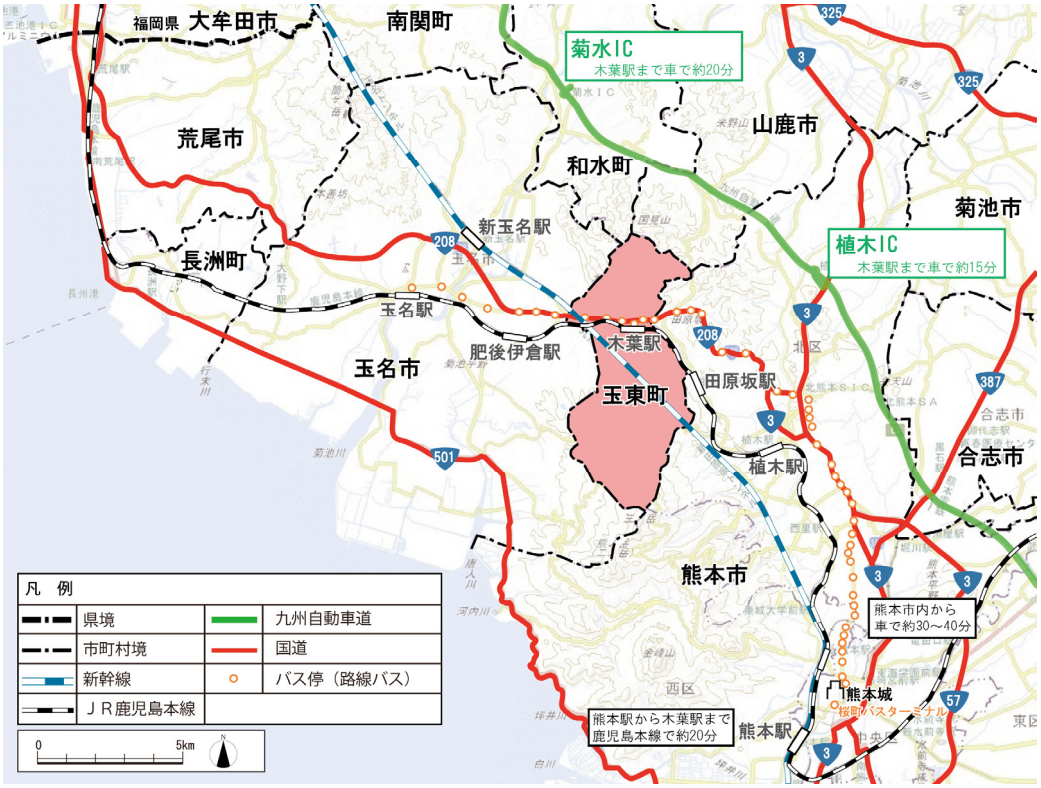

図 18.　玉東町および周辺地域の道路・交通状況

４）史跡へのアクセス

１）～３）で記載した交通手段を総合すると、町内に点在する史跡地に行く場合、木葉駅から１km 圏内は徒歩移動が考えられるが、その他の半高山古戦場や横平山古戦場等は最寄りの駅から徒歩 30 分以上を要するので、車での移動が最も優位であると考えられる。

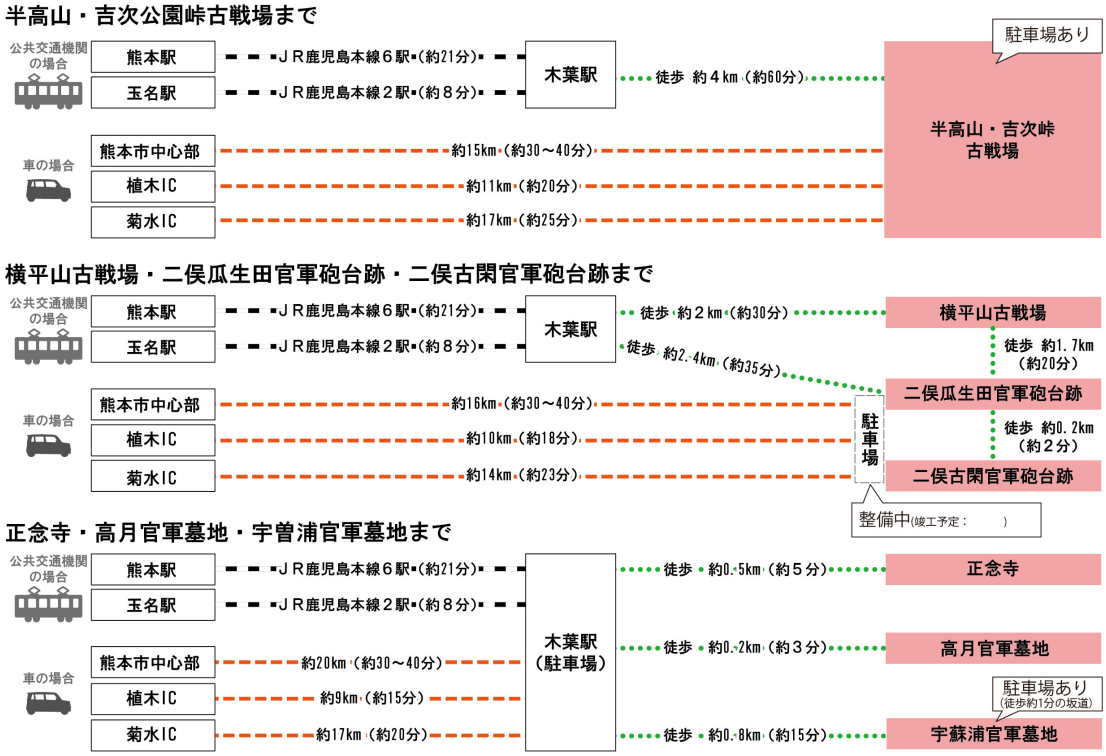

図 19.　玉東町内の史跡地へのアクセス

（１０）観光・レクリエーション

近年、町では JR 木葉駅前（北口）において賑わいの拠点整備（駅前再開発）事業を進めている。平成 30(2018)年に「観光拠点施設ぷらっとぎょくとう」、平成 31(2019)年に「ゆめ・ステーション・このは」の２つの施設が開館した。現在、「ぷらっとぎょくとう」入口スペースにおいて本史跡に関する展示を行っており、今後ガイダンス機能の付加を計画している。

また、玉東町中央公民館ロビーに併設された図書室の一角に、本史跡に関する展示を行っている。

町民保養施設としては、「ふれあいの丘交流センター」があり、入浴施設や地元物産品が購入できる販売所も併設している。その他、町民の憩いの場となっている公園は、史跡内のものも含め 11 箇所ある。(表 13)

本史跡と関連する観光・レクリエーション施設として、九州自然歩道が挙げられる。九州自然歩道とは福岡県の北九州国定公園皿倉山を出発点として南下し、英彦山で東西に分かれ九州各県を一周する自然歩道である。日帰り利用を念頭に九州圏域の利用しやすい地点をつなぐ九州本土全県を巡る地域周回型の路線で、路線延長は約 2,900 ㎞である。昭和 50(1975)年度に整備が開始され昭和 55(1980)年度に全線開通した。熊本県内では主に金峰山（熊本市）、田原坂（熊本市）、鞠智城跡（菊池市・山鹿市）、菊池渓谷（菊池市）、根子岳（阿蘇市、高森町）、通潤橋（山都町）、等の名勝・旧跡を通っている。玉東町内では木葉駅を起点として南東に延び、金峰山麓、熊本市西区河内町野出に至るコースがある。

玉東町教育委員会では、本史跡を中心に町内を歩いて回遊するフットパスの 4 コースを平成 29(2017)年から 3 年間で策定した。ルート上に簡易的な目印を整備しており、個人で回遊することもできるが、令和元(2019)年に発足したガイド団体「玉東フットパス愛好会」が年間 4 回以上のイベントを実施しながら運営している。

イベント・行事は町内者向けのものが多いが、近年、町外者を対象として、特産品のハニーローザ（スモモ）の PR を行う「ハニーローザ収穫祭」を 6 月中旬に開催している。また、町内外の小中学生を対象に、「西南之役剣道大会」が毎年 3 月に行われている（令和元(2019)年に第 49 回を実施）。

本史跡に関するイベントとしては、「西南戦争遺跡めぐりウォーキング」を毎年 11 月に開催し、多くの参加者を得ている。この他、平成 25(2013)年から始まった「西南之役鎮魂祭博愛灯会」は竹灯籠を地域住民と作成し史跡地を装飾するイベントで、毎年形を変えながら実施している。

表 11. 玉東町内公園一覧

公園名	場所	概要
吉次公園	玉東町原倉字荒強当	西南戦争で最も激しい戦争が行われた場所のひとつで、西郷軍防衛線最後の牙城となった地。桜の名所。
半高山公園	玉東町原倉字半高	吉次峠に隣接する標高 294ｍの山で、西郷郡軍の防衛線があった。近くの木留（植木町）には西郷軍の本営があり、吉次峠と一体になった激戦地。桜の名所。
横平山公園	玉東町二俣字峠	田原坂・吉次峠と並ぶ三大激戦地跡の一つ。三階建ての展望台がある。桜の名所。
有栖川宮御督戦阯広場	玉東町木葉字丸田	西南戦争の田原坂攻略戦において、政府軍征討総督有栖川宮熾仁親王が陣頭指揮をされた地。ツツジや桜の名所。
高月児童公園	玉東町木葉字高月	高月官軍墓地と隣接しており、地域住民の憩いの場となっている。
オレンジタウンふれあい広場	玉東町木葉	平成 29(2017)年に完成した大型複合遊具のある公園。JR 木葉駅の改札口から歩道橋を渡ってすぐに位置し、駐車場もあるアクセスのよい公園である。
陣内公園	玉東町木葉字陣内	―
稲佐六反田児童公園	玉東町稲佐字六反田	玉東町稲佐地区のニュータウンの中にある、地元住民の親睦の場。
年の神水源公園	玉東町上白木	年の神水源の公園化により整備され、熊本名水 100 選に選ばれた湧水公園。JR 木葉駅から 3 ㎞程の所にある。
土生野フラワーパーク	玉東町木葉字土生野原	熊本方面からの玉東町の顔として、木葉猿をモチーフにしたモニュメントが置かれ、季節の花が彩られている。また、夜になるとライトアップされる。
ひがし公園	玉東町上木葉土生野	町役場横に設置された公園で小・中学生や地域住民の憩いの場となっている。

表 12. 玉東町内神社仏閣一覧

区分	名称	概要
神社	稲佐熊野座神社	平安時代の作と伝わる木造女神坐像が安置されている。境内地には県指定史跡稲佐廃寺跡の礎石遺構が復元されている。
	木葉宇都宮神社	古い伝えによると、養老 7(723)年に藤原氏の氏上である大和国春日神社に祭神を勧請して、木葉に春日大明神が創建された。縁結び神社。
	山北八幡宮	山北地区の守り神として地区の人々が集まり、神幸行列や相撲、馬追い神楽等が奉納され、五穀豊穣を感謝する神事が執り行われる。
	霊雨山神社	木葉山の頂上に位置し、鳥居の登山口からは約 30 分。
	浦田天神社	―
	宮地嶽神社	福岡の宮地嶽から勧請したと伝わる。開運の神様。
	猪鼻神社	イノハナさんといわれる。二月末に祭りが行われる。
	白山宮	勧請してから 800 年になり、明治 40(1907)年 2 月に旧山北村の村社に昇格。昭和 54(1979)年に創建 750 年の祭典が行われた。
寺院	正念寺	山号を霊雨山と称し、天正年間に開闢された浄土真宗の寺院。西南戦争で大繃帯所（救護所）として使われた。
	興隆寺	高月官軍墓地に隣接する。
	徳成寺	慶長 2(1597)年創立とされる浄土真宗本願寺派の寺院で、阿弥陀仏如来を本尊としている。西南戦争時には正念寺同様繃帯所として使われていたと伝わる。

表 13. 玉東町の主なイベント等一覧

イベント名	開催時期	概要	実施主体
ハニーローザ収穫祭 in 玉東町	６月中旬	旬が短いハニーローザの青果を楽しむことができる収穫祭。毎回 300 名を超える応募がある人気イベントである。	玉東町 産業振興課
ふれあい祭り	８月中旬	地域づくりを目的に開催する夏祭り。屋台や盆踊り、花火大会や抽選会がある。	玉東町夏まつり実行委員会(玉東町役場企画財政課)
西南戦争 遺跡めぐり ウォーキング	10 月～11 月	町内西南戦争遺跡を歩いて巡るイベント。平成 21(2009)年から実施し、近年では JR 九州玉名駅が実施する JR ウォーキングのコースの一つとして実施。	植木町•玉東町 西南戦争遺跡群連携保存活用協議会
山北八幡宮大祭	11 月 19 日 2 月 19 日	神幸行列をはじめ、相撲や馬追、神楽等が奉納され、五穀豊穣を感謝する神事が行われる。	玉東町役場 産業振興課
西安寺神楽	11 月 9 日、1 月 9 日 （西安寺白山宮） 11 月 19 日、2 月 19 日（山北八幡宮）	以前は神官によって奉納されていた西安寺神楽だが、現在は昭和 53(1978)年に結成された西安寺神楽保存会が西安寺白山宮、山北八幡宮で神楽を奉納している。	西安寺？
玉東町 西南の役慰霊祭 西南の役剣道大会	3 月 21 日	町内外小中学生による剣道大会。昭和 41(1966)年に西南戦争の慰霊と剣道振興を目的に始められた。	玉東町・玉東町剣友会（特別協賛：熊本県民共済生活協同組合）
西南之役鎮魂祭 博愛灯会	3 月下旬	平成 25(2013)年 3 月に西南戦争遺跡が国史跡に指定されたのをきっかけに、西南戦争戦没者の慰霊を目的に始まった。町内有志が作成した竹灯篭と町内小中学生が作成したと灯篭が並ぶ。	玉東町教育委員会・博愛灯会実行委員会（後援：日本赤十字社熊本県支部）
玉東フットパス	年 4 回以上	史跡を中心に町内を歩いて回遊する半日のイベント。 	玉東フットパス愛好会・玉東町教育委員会

（１１）社会教育と学校教育との連携

玉東町教育委員会では、本史跡に関する事業として、西南戦争を多角的な視点から学ぶ「西南戦争歴史講座」を熊本市と連携して年間 5 回程実施している。併せて、西南戦争に関して学ぶ「西南戦争歴史検定」を毎年 3 月に実施し、町内小中学生をはじめ全国から受験者が集まる。この他、史跡西南戦争遺跡ホームページの運用や、西南戦争ガイドブックをはじめ、各種マップ、マンガ等を制作・配布し、本史跡に関する情報発信を行っている。

玉東町には小学校 2 校及び中学校 1 校があり、学校教育と連携して地域学習を推進することで児童生徒に対する本史跡への興味関心を促し、郷土への愛着形成へつなげている。具体的な取り組みとしては、町内小学 6 年生に対して「マンガ西南戦争―ふたりの隼人―」を配布し、学芸員による出前講座、史跡めぐりを実施ししている。また、中学 1 年生の総合学習の時間では地域の歴史学習の一環で本史跡を取り上げ、学習を深め文化祭で発表する取り組みを行って

いる。また、主に中学１年生に西南戦争ガイドブックを配布し、西南戦争歴史検定の受験を促している。

この他、11 月に開催するウォーキングイベントのボランティアスタッフとしてガイドやおもてなしの体験に参加を促している。

図 20. ウォーキングイベントで地域の方と一緒におもてなしをする中学生

（１２）連携状況

１）行政内部および行政間の連携

本計画は、玉東町教育委員会が主体となり策定するが、庁内連携を図るために庁内作業部会を設け、情報共有や意見交換を行っている。

この他、他の自治体との連携状況としては近隣の熊本市や玉名市等と実施している。

本史跡の構成要素である田原坂公園が位置する熊本市(旧鹿本郡植木町)とは、平成 21(2009)年 8 月に「植木町・玉東町西南戦争遺跡連携保存活用協議会」を設立し、史跡指定及び史跡活用に関する連携した事業を展開してきた。しかし、植木町が平成 22(2010)年 3 月に熊本市と合併後、5 年間の合併特例区期間を終えたところで協議会は解散し、一部事業を各市町で分担して行う等の連携事業を進めている。特に近年では「熊本市連携中枢都市圏事業」の一環として連携した事業展開を推進している。

この他、玉名市、玉東町、和水町、南関町の 1 市 3 町で構成されている「玉名圏域定住自立圏」において、移住促進や生活の利便性向上にむけた取り組みを行っている。

２）民間組織等との連携

町民等による団体との連携状況を以下に示す。

表 14. 本史跡に関連する活動を行う団体

団体名	概要･現状	窓口
玉東フットパス愛好会	令和 2 (2020)年 5 月発足。フットパスイベントの実施や、コースの整備等を行う。現在員 18 名。	玉東町教育委員会
ぎょくだん	ミカンをはじめとした果物栽培をおこなう若手農家団。Web ショップでの販売と連携し PR を行う。	ぷらっとぎょくとう
田原坂観光ガイドの会	西南戦争・田原坂の戦いに関し、熊本市植木町や関係する周辺地域の西南戦争遺跡を研究・活用しながら地域の観光振興に取り組む。玉東フットパス愛好会との連携もある。現在員 13 名。	熊本市 田原坂西南戦争資料館
各地区老人会	ボランティア清掃活動として史跡地や公園等の清掃活動を実施している。組織の高齢化にともなう解散が相次ぎ、活動が困難になっている。	各地区老人会
玉東町シルバー人材センター	家庭、官公庁等からの作業を請け負う。玉東町に在住、概ね 55 歳以上の会員が所属している。	玉東町社会福祉協議会